

授業科目 職業関連作業療法学・演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
貝淵 正人、長谷川 利夫		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 職業リハビリテーションにおける作業療法の位置づけと意義・役割を理解し、障害者への具体的な訓練の方法を学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 職業の意義と職業的発達について説明できる。 2. 障害者の就労についての状況と問題点を述べることができる。 3. 職業に関して生活機能と障害、背景因子について整理し作業療法との関連を述べるができる。 4. 標準化されている、職業関連の評価を施行できる。 5. ICFを使用し就労支援への技法を施行できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	職業リハビリテーションの定義・概念・歴史			1	担当：貝淵 正人
2	障害者の就労の現状			2・3	担当：貝淵 正人
3	職業リハビリテーションにおける作業療法の役割			2・3	担当：貝淵 正人
4	職業興味検査の実施とその解釈			4	担当：貝淵 正人
5	GATB評価の実施とその解釈			4	担当：貝淵 正人
6	職業レディネスチェックリストの実施とその解釈			4	担当：貝淵 正人
7	内田クレペリン検査の実施とその解釈			4	担当：貝淵 正人
8	身体障害ケース（ICF使用）にて就労支援の検討			5	担当：貝淵 正人
9	精神障害者の就労			4	担当：長谷川 利夫
10	援助付き雇用の概念、歴史的・理論的基盤			4	担当：長谷川 利夫
11	IPSの理論的基盤			4	担当：長谷川 利夫
12	IPSの概要			5	担当：長谷川 利夫
13	Rehab評価の実際			1・2	担当：長谷川 利夫
14	具体的支援の実際			2・3	担当：長谷川 利夫
15	まとめ				担当：長谷川 利夫
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		職業リハビリテーション学 第2版	松為信雄編	協同医書出版	2006・4,200円
参考書		職業関連活動	早川宏子	協同医書出版	1999・2,600円
その他の資料					
【評価方法】 (1)出席2/3以上 (2)期末試験60点以上 (1)でかつ(2)の場合合格とする			【履修上の留意点】		